

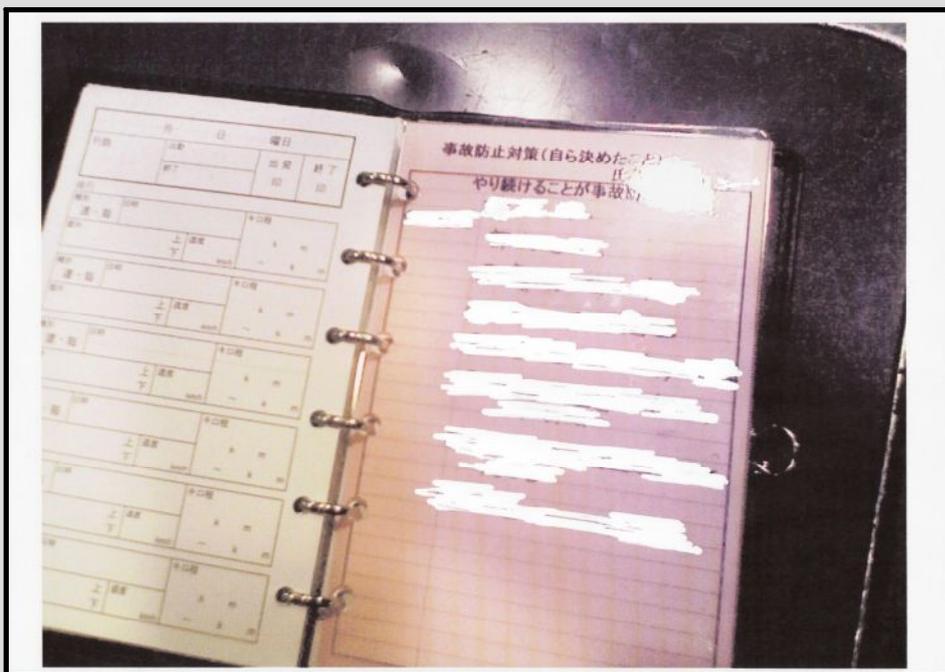
見せしめ、押しつけ、差別で 事故の再発防止と言えるのか？

神領運輸区において、過去事故を起こした社員に対し、自らが作成した「事故防止対策」をピンク色のシートに印刷したカードを、乗務手帳に挟むことを指導しています。

乗務日のページに毎日挟みかえ、点呼を受けます。紙の色が違うので、他の社員からはすぐにわかってしまいます。「ピンクのシートが挟んであるから、彼は事故を起こしたんだな」という具合です。

当該乗務員は、乗務手帳を開くたびに、点呼のたびに「見せしめ」「さらし者」にされているようで、とても「再発防止」という心境ではありません。これでは、江戸時代に「犯罪者」に「焼き印」を押すのと同じような対応です。

確かに注意喚起は、再発防止にとって必要なことかもしれませんが、しかし、このようなやり方が有効とは思えません。まさしく「責任追求」の別表現でしかありません。直ちに中止するよう強く申し入れます。



乗務手帳にピンク色の「事故防止対策」差込みを強要！

過去に事故を起こし社員だけ

これでは、まるで「犯罪者」扱いだ！